

# ハブって どんな動物?



ハブは、<sup>せきついでうぶつちちゅうるいゆうりんちく</sup>脊椎動物爬虫類有鱗目クサリヘビ科マムシ亜科に分類される毒蛇で、<sup>あかびんるいどくへいどくへい</sup>アジアに住む毒蛇の中では最大の種類で、<sup>さいだいしゆるいぜんばい</sup>全長が2メートルを超える場合もあります。

奄美群島では奄美大島、<sup>あまみおあしま</sup>加計呂麻島、<sup>かけろましま</sup>請島、<sup>うけじま</sup>与路島、<sup>よろじま</sup>徳之島に生息していますが喜界島、<sup>きがいじま</sup>沖永良部島、<sup>おきのえらぶじま</sup>与論島には生息していません。

ハブは6月から7月にかけて平均して8~10個ぐらいの卵を産卵します。卵は、自然界では約40日で孵化します。孵化したときは40センチメートルくらいのかわいい子ハブですが、持っている毒の強さも攻撃する能力も親ハブと変わりません。3年ぐらいで繁殖能力を持つ110センチメートル前後の成蛇に生育すると推定されています。

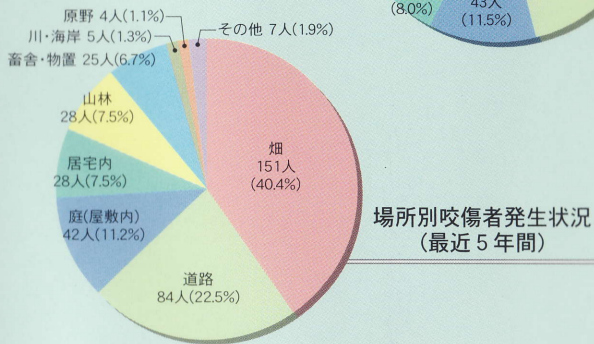
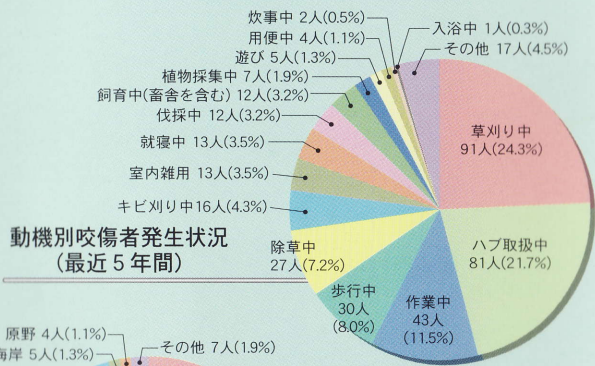
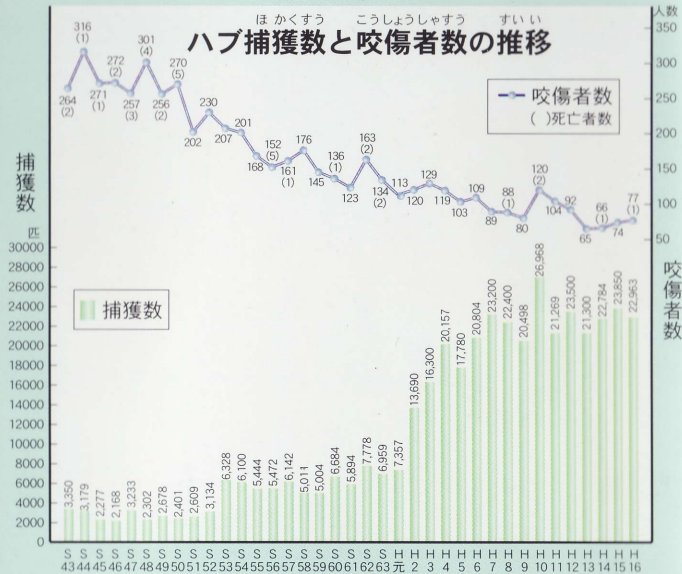
ハブは肉食動物です。ハブが捕食している80%がネズミ類で、他に鳥類や爬虫類、両生類も補食しています。従って、人の生活圏からネズミを駆除することがハブを寄せ付けない秘訣といえます。

ハブは、耕作地帯を中心に人の集落地帯まで、山地や平地の至る所に生息し活動しています。行動の大部分は餌になる動物を求めての行動ですが、その一日の行動半径はせいぜい100メートル程度だと考えられています。一度見かけたらまだその付近にいると思われるので注意が必要です。

ハブの活動に適した温度は、18℃~30℃位の範囲で、24℃位の時が最も活動しやすいようです。

一年の中では、4月から6月と9月から10月が活動の盛んな時期になりますので注意が必要です。

また、体温が33℃~35℃を超えると急激に衰弱して死んでしまいます。真夏の7月と8月は、ハブにも暑すぎるのであまり出歩かないのです。



【写真提供・監修協力】  
 (有)奄美観光ハブセンター  
 所長 中本 英一

# ハブに 咬まれない ために



- ハブ対策推進協議会  
 (名瀬市永田町17-3大島支庁)
- 名瀬保健所  
 ☎ 0997-52-5411
- 徳之島保健所  
 (大島郡徳之島町亀津4943-2) ☎ 0997-82-0149